わかる!見える! 「第3次産業活動指数」面白分析例

平成 28 年 3 月 調査統計グループ経済解析室

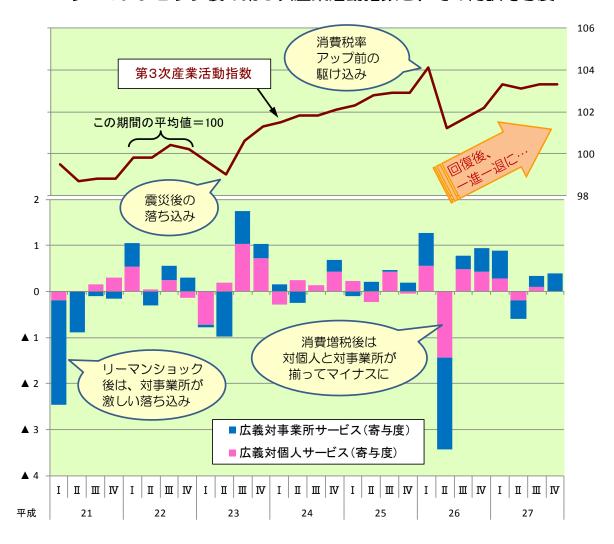
日頃から第3次産業活動指数をご利用いただき、ありがとうございます。

「第3次産業活動指数」は、政府統計を始めとして、多くの業界団体や企業からデータをいただくことで作成されており、国内全産業の生産活動の約7割のウェイトを占めています(鉱工業生産は2割弱、建設業活動は1割未満)。昨年秋に基準改定を行い、より精度の高い指数値と、視点を変えた分析用データをご提供できるようになりました。

■リーマンショック後から現在までの第3次産業活動指数

「指数」では、ある時点を 100 として、別の時点との比較を行います。現在の第3次産業活動指数では、平成 22 年を 100 としています(平成 22 年基準)。リーマンショック、東日本大震災、消費税率アップなど、近年の大きな変動によって第3次産業活動指数がどのように動いたかを見てみましょう。

リーマンショック後の第3次産業活動指数と、その内訳寄与度

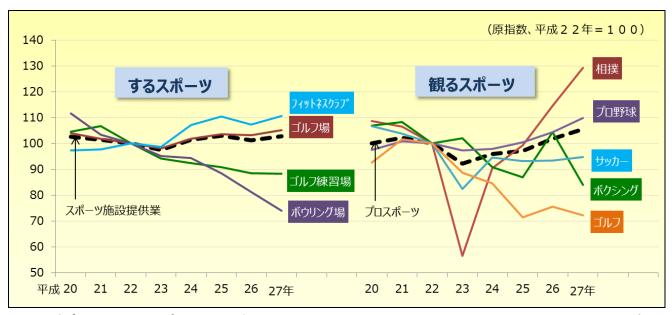


■第3次産業活動指数で見える、面白ネタご紹介!

平成 22 年基準の第3次産業活動指数は、採用データを細分化したり、分析用の再編集系列(指数を様々なタイプごとに分類して再集計したもの)を追加したりと、さらに使いやすくなりました。



◆ 「相撲女子」の影響? グラフで見る「する」スポーツ、「観る」スポーツ



自分がプレイ「するスポーツ」のグラフでは震災や景気の変動はあまりはっきりせず、総じて横ばいか低下傾向です。そんな中でフィットネスクラブが上昇しているのは、景気の好不調などの外的要因よりも、健康に対する意識の高まりがあるのかも知れませんね。

一方、プロの試合を「観るスポーツ」には大きな動きが見られます。観客動員数が圧倒的に多いプロ野球は、他のスポーツに比べて安定して推移しています。他方で、相撲は平成 23 年に震災や不祥事などが重なって大きく落ち込みましたが、以降、若手力士の活躍などで人気が復活し、平成 26 年からは大幅に上昇しています。若い女性の相撲人気が高まっていることなども、ここに表れているのでしょう。

◆ 値上げは即、節約につながる? 「内食」と「外食」で見る意識の違い



私達の生活と関わりの深い「飲食関連サービス」に目を向けてみましょう。ファミリーレストランや 居酒屋などの「外食」と、スーパーやコンビニなどで食材を購入して家庭で調理する「内食」、値段が上がった時に「節約しなくちゃ!」と考えるのはどちらでしょうか。

「内食(飲食料品小売業)」については、平成26年の増税後に価格水準が急上昇すると、内食の指数値は急降下しています。その後も価格の上下と内食の指数の上下は反対向きに動いており、消費者の買い控えや買いだめが価格の上下と深いつながりがあることが示されています。一方、「外食(飲食店,飲食サービス業)」のグラフでは、平成26年の増税時には内食と同じく価格が上昇していますが、外食の指数自体は緩やかな上昇が続いています。「今日は外食しよう、と思ったら、多少高くても行く!」ということですね。日常の内食ではなるべく節約し、外食する日にはちょっと贅沢をするという消費者心理のメリハリ感が数字に表れたと言えるでしょう。少なくとも平成26年の増税時における指数と価格の動きを見る限り、日常的な飲食料品の購入活動である「内食」の方が、お値段の上下に敏感なようです。

◆ 高齢者世帯の利用が目立つサービスとは?



消費のけん引役と言われる団塊の世代が65歳を超えた現在、高齢者の消費に関心が高まっています。 「旅行・交際」「健康維持、医療介護」など、高齢者世帯が多く消費・利用しているサービスを集めて、 「高齢者世帯特化サービス指数」を作りました。上のグラフはその内訳業種が、平成22年から27年の5年間でどのくらい上昇・低下したかを表したものです。

第3次産業総合の指数の上昇幅は5年間で3.2%ですが、高齢者世帯特化サービスの指数の上昇幅は6.8%と、上昇幅が2倍以上になっていることがわかります。内訳業種の動きを見ると、フィットネスクラブに通い、宅配貨物運送業(宅配便、ネット通販など)を利用し、泊まりがけで旅行に出かけて、ゴルフを楽しむ、そんな元気な高齢者世帯の生活が少しだけ垣間見える気がしませんか?

※経済解析室は、経済産業省作成の統計を中心に、多くの分析資料を皆様にご提供中です。 ぜひ一度、HP やフェイスブックをご覧ください。

■お知らせ

インターネットでさらに詳しい情報をご覧いただけます。



◎第3次産業活動指数HP → 「第3次産業活動指数」で検索

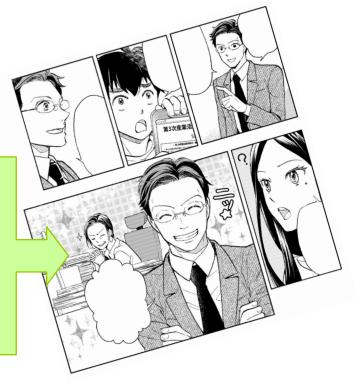
第3次産業活動指数の最新結果や詳細なデータはこちらです。(スマホ対応ページに順次リバイス中)

◎経済解析室フェイスブック → 「経済解析室 Facebook」で検索

経済解析室が公表している鉱工業指数や第3次 産業活動指数等について、データの見方や使い 方をご紹介したり、これらを含めた各種統計デ ータを活用して、少し実験的な分析をご紹介し ています。

経済産業省 経済解析室
昨日13:30・6
ドラッグストアは、日常的な買い物の場所として定着していると思います。では、そのドラッグストアで売れている商品分野について確認してみました。
http://www.meti.go.jp/.../minikaisetsu/.../20160222hitokoto.html

作成中です。どうぞお楽しみに!現在、3次指数の統計マンガを



◎「お役立ちミニ経済解説(by.経済解析室)」

→ 「お役立ちミニ経済解説」で検索

経済解析室が各種指標や統計用語などを簡単に解説し、よくある 質問をまとめたものです。「お役立ち資料集」から「まんが通産統計 物語」もダウンロードできます。

◎経済産業省調査統計グループのメールマガジン

→ 「調査統計 メルマガ」で検索

経済産業省の統計作成部署によるデータの解説や経済分析を、 いち早くお届けします。



〇本資料のお問い合わせはこちらまで

経済産業省 大臣官房 調査統計グループ 経済解析室 第三次産業指数班 Tel: 03-3501-1511 (代表) 内線 2854 または 03-3501-1644 (直通)